

神戸サステナブルファイナンス・フレームワーク 脱炭素先行地域サブフレームワーク



2025年（令和7年）9月
神戸市

1. 背景と目的

本市は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、市内の多様な企業・団体による脱炭素投資の促進を図るべく、「神戸サステナブルファイナンス・フレームワーク」を策定しました。また、事業者が自らの活動に即したプロジェクトを迅速かつ的確に把握・選定できるように支援することを目的として、参照計画ごとにサブフレームワークを作成しました。

本サブフレームワークでは、「脱炭素先行地域計画提案書」に位置付けられたプロジェクトを整理していますが、下記の計画対象エリア外の事業者様も、本サブフレームワークに掲載された事業を市内で実施する場合には、本フレームワークを活用した ESG ファイナンスによる資金調達が可能となり得ます。

2. 計画対象エリア

ポートアイランド第二期 「神戸医療産業都市エリア」・「港湾エリア」



3. グリーンプロジェクト例

大分類 (カテゴリー)	小分類 (適格クライテリア)	主に想定される プロジェクト例	具体的な適格基準例
エネルギー効率	高効率な照明設備	・LED 照明の導入	・LED の場合は特になし
	高効率な空調・熱源 等関連設備	・省エネ型空調機器の導入 ・省エネ型熱源設備の導入 ・省エネ型給湯設備の導入 ・省エネ型全熱交換機の導入	以下の要件のいずれかを満たすもの ・エネルギー使用量または CO ₂ 排出量が従 来対比 30%以上削減されるもの ・環境省指定先進的高効率設備であるこ と(化石燃料を使用する設備の場合は、上 記の削減基準を満たすこと) https://www.env.go.jp/press/files/jp/102669.pdf
	エネルギーの有効活用	・蓄電池の導入	・再生可能エネルギーの導入や拡大に資す る計画が明確なこと
再生可能エネル ギー	再生可能エネルギーの 推進・普及	・太陽光発電の導入	・制約なし
		・自営線・蓄熱設備・熱導管の導入	・再生可能エネルギーを利用すること
循環経済に対 応した製品、製 造技術・プロセ ス、環境配慮製 品に関する事業	次世代燃料の導入促 進(※)	・コンテナ蓄電池からの給電装置の 導入	以下の要件のいずれかを満たすこと ・再生可能エネルギー由来の電力を充電し た蓄電池を使用すること ・エネルギーマネジメントシステムとしての機 能を有すること
	CO ₂ ・排熱の回収・利 活用(※)	・コージェネレーションシステムの導入	以下の要件のいずれかを満たすこと ・ライフサイクル排出量 100gCO ₂ /kWh ・熱効率 80%以上であることかつ、 BAT(Best Available Techniques 現 実的に利用可能な最良の技術)であること
クリーンな輸送	電動車の導入(※)	・電気自動車(EV)、電動バス、充 電インフラの導入	・制約なし
		・プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)	・制約なし
		・V2H 充放電設備の導入	・制約なし

(※)を付した適格クライテリアについては、プロジェクトの内容によっては、トランジション適格プロジェクトとすることがあります。

(改訂履歴)

年月	内容
2025年(令和7年)9月	初版発行